7月1日(土)
31日(月)は

社会を明るくする運動強調月間です

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ

問合せ 福祉課保護係

「社会を明るくする運動」は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動です。昭和26年に始まり、今年で67回目を迎えます。

7月を強調月間として、保護司会や更生保護女性会が中心となり、市内各所での街頭広報活動を始めとするさまざまな啓発活動を行います。

●地域のチカラが犯罪や非行を防ぐ
テレビや新聞では、毎日のように事件や犯罪のニュースが報道されています。安全で安心な暮らしはすべての人の望みです。犯罪や非行をなくすために、取締りを強化して罪を犯した人を処罰することも必要なことです。しかし、立ち直ろうと決意した人を社会で受け入れていくことや、犯罪や非行をする人を生み出さない家庭や地域づくりをすることもまた、とても大切なことです。

立ち直りを支える家庭や地域をつくるためには、一部の人たちだけでなく、地域のすべての人たちがそれぞれの立場で関わっていく必要があります。

社会を明るくする運動では、犯罪や非行のない地域をつくるために1人ひとりが考え、参加するきっかけをつくることを目指しています。

●更生保護の担い手とは
【保護司】

犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支えるボランティアです。保護観察対象者の生活環境の調整や、犯罪予防活動に取組んでいます。

【更生保護女性会】

女性の立場から、地域における犯罪予防の活動や子どもたちの健全育成のため子育て支援活動などを行うボランティア団体です。

●活動について 池田定史(保護司)

社会を明るくする運動は、今年で67回目を迎えます。

碧南保護区保護司会碧南支部の啓発活動は、7月1日(土)に更生保護女性会と市内中学校のボランティアの生徒と一緒に市内の店舗に立ち、リーフレットやハンドタオルを手渡しします。ハンドタオルは、この運動に賛同していただいた企業・団体・個人の協賛金で作成され、市内中学生の「社会を明るくする運動」優秀標語作品が印刷物として入っています。この標語には、罪を犯してしまった人の立ち直りを支える社会、また犯罪や非行をする人を生み出さない家庭や地域づくりをテーマに生徒たちの熱い思いが込められています。皆さんも安全・安心な社会づくりを目指し、1人ひとりができる小さなことから始めませんか。

社会を明るくする運動標語作品入賞者

(敬称略)

最優秀賞

胸はつて 歩ける自分を 作つてく

黒田 竣大(東中 2年)

優秀賞

被災地へ その一円が 大活躍

河野 光(新川中2年)

回覧板 近所の輪つなく 地域社会

角谷 好騎(南中 3年)

入選

ばらまくな ゴミも個人の 情報も

原田 薫(新川中3年)

ありがとう こころの器 いっぱいに

浅岡 音々(新川中3年)

いじめっ子 よくよく見てよ 笑っているのは自分だけ

岩戸 一華(中央中3年)

かぶるなら 猫をかぶらず ヘルメットかぶれ

岡本 恵汰(中央中1年)

悪口は 言わない聞かない 同意しない

加藤 弦(南中 2年)

「先どうぞ」 ちよつとの気づかい あたたかい

小澤 美寿(南中 2年)

見えますよ 「ちよつとぐらい」が 落とし穴

高須 なみ(東中 1年)

募金箱 自分の優しさ たまつてく

高山 由衣(東中 1年)

ルールとは 命を守る 宝物

若松 柚奈(西端中2年)

メールより ちかくで話そう お母さん

芝元 快(西端中1年)

碧南保護区保護司会碧南支部長賞

「うざいよね」そんな言葉 なくそうよ

石川 瑠華(新川中3年)

青空に 輝くみんなの 可能性

杉浦 一晟(中央中2年)

あいさつは 私から にこにこ笑顔で 私から

磯貝 百子(南中 3年)

一言で 友情の糸 ほどかないで

高山 美羽(東中 3年)

なにげない あいさつのもつ あたたかさ

鳥居 和生(西端中3年)

碧南市更生保護女性会長賞

いじめの連鎖 少しの勇気で とめられる

高橋真里奈(新川中3年)

返してね あいさつ無視は 違法だよ

高橋 侑子(中央中3年)

あいさつの 数だけ笑顔も 増えていく

上田 莉子(南中 1年)

SNS 使い方次第で SOS

和田 果乃(東中 3年)

スマホ見る やめてみんなと 話そうよ

長崎 有紗(西端中3年)